

共済懇談会の主な意見と要望

共済懇談会は、組合員の皆さまに共済制度をご理解いただき、より一層有効にご活用いただくことを目的に毎年開催しており、本年度においても、9月10日の宮代会場を皮切りに、10月1日まで県内4ヵ所で開催し、総数311名のご参加をいただきました。

当日は、短期・長期給付及び福祉事業の現状を説明した後、組合員の皆さまから共済事業全般へのご要望等をお伺いすることを中心として、これまでにいただいた貴重なご意見は、当組合の事業運営に様々な形で反映させていただいております。

今回の共済懇談会でいただいたご意見・ご要望等については、去る10月24日の議員協議会で種々検討した上で、平成26年度の予算編成時において、実施できるかどうかの決定をしていく運びとなります。

なお、今回ご参加いただきました皆さま及び開催にあたりご協力いただきました各所属の皆さま方に改めてお礼申し上げます。

※平成25年度共済懇談会において出された主なご意見・ご要望と、議員協議会での検討状況をお知らせいたします。
(より詳しい内容は、共済組合のホームページに掲載予定)

懇談会 会場一覧表

開催日	選挙区	議員	開催場所	参加人数
9月10日(火)	第4区	金田 敬司(越谷市) 高橋 恵子(八潮市)	宮代町「進修館」 大ホール	59名
9月19日(木)	第2区	田中 廣美(所沢市) 松本 貢一(新座市) 中村 篤志(東松山市)	川越市「氷川会館」 2階 桐の間	89名
9月27日(金)	第3区 第5区	前林 兼二(熊谷市) 持田 明彦(小川町)	寄居町役場 6階大会議室	67名
10月1日(火)	第1区	島田 友光(鴻巣市) 國分 政義(さいたま市) 田村 伊佐雄(川口市)	さいたま共済会館 501会議室	96名
合計				311名

短期給付関係

Q 支出軽減のためジェネリック医薬品の促進をもっとPRしてほしい。(上尾市)

A ジェネリック医薬品の取り組みは、毎年適正化対策事業の中で明記し、共済だよりへの記事掲載と4月に組合員になられた方へのリーフレット配付などPRに努めております。

また、昨年11月には「ジェネリック医薬品差額通知」を実施し、本人負担分と共済組合負担分併せて年間1,800万円の削減を見込んだところです。

これからもPR方法を検討し促進に努めていきますので、引き続きご協力をお願いいたします。

Q 短期給付は大変厳しい状況であるが、医療費そのものを抑制する何らかの対策を考えているのか。(例えば、未病、余病などの対策、レセプトデータからの医療費分析など)

A 医療費適正化対策事業については、その具体的な取り組みを共済だより4月号で組合員の皆さまへお知らせしご協力をいただいているところです。また、レセプトの医療費分析結果も共済だよりへ掲載しております。今後も適正受診のお願いなど医療費抑制に取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

福祉事業関係

1 保健事業関係

Q 人間ドック等の助成金額を増額してほしい。

A 保健経理においては、組合員数の減少等により負担金・掛金収入が大幅に減少しており、財政状況も大変厳しい状況が続いております。この厳しい財政状況の中、保健事業検討委員会等で財源率を引き上げないことを前提に保健事業全般にわたる見直しを図ってきたところであり、保健経理の財政状況を考慮すると助成金額の増額は現状では難しいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

Q インフルエンザ予防接種助成の対象範囲を広げてほしい。

A 平成25年度の新規事業として組合員(任意継続組合員を除く)を対象にインフルエンザ予防接種助成を実施していますが、助成対象者の範囲を広げるについては、保健経理の積立金の状況を見極めながら職員側議員協議会等において慎重に検討して参ります。



持田議員(寄居会場)

Q 人間ドック等の指定医療機関を増やしてほしい。

A 所属所からの推薦状に基づき医療機関側と交渉させていただきます。

Q 偶数年度に一斉開催となっている共同主催の球技大会を種目によって年度を分けてほしい。

A 平成22年度から偶数年度に共同主催(共済組合、市長会、町村会、一部事務組合)の球技大会、奇数年度に共済組合主催の球技大会を開催しているところですが、現在の開催方法については、各関係機関と調整のうえ決定した経緯があることから当面は現行方式での開催についてご理解をお願いいたします。



島田議員(さいたま会場)

Q 「えらべる倶楽部」を廃止して、従前の助成制度に戻してほしい。

A 「えらべる倶楽部」は、保健経理における厳しい財政状況を受けて、事業費用圧縮のため民間宿泊助成の廃止をはじめ保健事業全般の見直しを図ってきた中、その見直しに伴う影響を少しでも緩和する目的で導入したところであります。したがって、財政面から考えても現行制度を廃止して、従前の助成制度を復活させるのは難しいと考えておりますので、現行制度を積極的にご利用いただきますようお願いいたします。



田中議員(川越会場)

Q 「えらべる倶楽部」については、施設によって会員証提示やクーポン券持参などの違いがあるので、会員証提示だけで利用できるようにしてほしい。

A 「えらべる倶楽部」での利用可能施設については、委託業者と各施設との契約によって利用できることとなりますが、施設利用時に会員証を提示するかクーポン券などを持参するかの違いについては、施設側の都合によることとなります。なお、会員証提示で利用可能な施設については、グルメ関係を中心に拡充を図っておりますのでご理解をお願いいたします。

Q 「えらべる倶楽部」の契約施設を追加してほしい。

A ご希望の施設がありましたら委託業者に交渉させますので、福祉課までご連絡ください。

Q アウトソーシング事業の委託業者を定期的に見直してほしい。

A アウトソーシング事業の委託業者については、導入当初から1年契約としており、毎年度、共済懇談会等の意見・要望を踏まえて、保健事業検討

委員会等において翌年度の委託業者を決定しています。

なお、今年度、現行の委託業者と他の業者のサービス内容の差異を確認するために、保健事業検討委員会において4社を対象に平成26年度の委託業者の選定に向けた取り組みを行い、3社(1社辞退)によるプレゼンテーションを実施しました。

また、委託業者の選定方法については、サービス内容等が異なることから同一条件での比較が困難であるため入札は馴染まないものと判断し、導入当初と同様に総合評価方式によるものとし、総合評価の実施に当たっては、当該委員会の中で選定会を開催し、委託費用、契約施設数、利用者の利便性など17項目についてそれぞれ採点した結果、高得点を取得した JTB ベネフィットが平成26年度の委託業者として内定しました。



國分議員(さいたま会場)

2貯金事業関係

Q 共済預金の利率について、現行の支払利率(1.8%)の維持もしくは引上げをしてほしい。

A 共済預金にかかる資金運用の環境については、厳しい状況が引き続いていますが、平成26年度の予算編成期に職員側議員協議会等において慎重に検討して参ります。



松本議員(川越会場)

3 貸付事業関係

Q 貸付利率を引下げてほしい。

A 共済組合における貸付事業については、年金の積立金からの借入金をもって実施することとされていることから、全国統一の貸付準則が総務省から示されております。

なお、当該準則では貸付利率・償還回数などが定められていることから、各共済組合において貸付利率などを決定できない仕組みとなっておりますので、ご理解をお願いいたします。



中村議員(川越会場)

4 物資事業関係

Q 物資購入券(デパート)の割引率を上げてほしい。

A 割引率の引上げについては、契約業者側の都合により難しいところがありますが、契約業者と交渉いたします。

Q 訴訟費用保険の支払い事例などをパンフレットに分かり易く記載してほしい。

A より分かり易いものになるよう委託業者と検討いたします。

草津保養所関係

Q 各種サービスについて、努力してほしい。(インターネット予約、空室状況等)

A インターネット予約については、アルペンローゼの場合、客室数が36部屋と少なく、導入費用や維持費用等を考えた場合、費用対効果が低く

導入は難しいと考える。また現在は、事務局(施設課)とアルペンローゼの2カ所同時に予約をお受けしており、インターネット予約を導入した場合、重複予約の恐れもあることから、引き続き、現行方法での対応でご理解をお願いいたします。

なお、空室状況については、月曜日～金曜日の毎日更新をして、ホームページにアップしておりますので、ご活用ください。

今後も、組合員とご家族の皆様がくつろげる施設を目指し、サービス向上に鋭意努力してまいりますので、今後ともご愛顧の程、お願いいたします。



前林議員(寄居会場)

Q 和洋室を設置してほしい。

A アルペンローゼは、和室10部屋、洋室26部屋で運営しております。現状で和洋室に改修するには部屋面積が狭く、隣室との壁を撤去しての改修方法が考えられ、その場合、部屋数、宿泊定員人数の減少及び建物強度問題等考慮しなければなりませんので、現在のところ難しいと考える。何卒、ご理解の程お願いいたします。

施設利用補助関係

Q 契約保養所を増やしてほしい。

A 契約を希望する公的保養所がございましたら、施設名をご教示ください。施設側の都合もございしますが、交渉をさせていただきます。

Q 夏季期間中における保養所について再開してほしい。(海の家等)

A 夏季期間中における海・山の家(借上げ方式も含む)の再開に係るご要望ですが、保健経理財政を確保するため、平成21年度に廃止をさせていただいた経過がございますので、再開については難しいと考えております。

なお、アウトソーシング事業の「えらべる倶楽部」において宿泊補助事業を行っており、特に、夏季期間中は、宿泊補助金額を増額しておりますので、是非、そちらをご利用いただければと思います。よろしくお願いたします。



金田議員(宮代会場)

Q レクリエーション施設を追加してほしい。

A 各会場においてご要望をいただいたレクリエーション施設については、交渉をさせていただきます。ただし、施設側の都合で契約できない場合もありますので、その点につきましては、ご理解をお願いいたします。



高橋議員(宮代会場)

Q 利用補助金額の増額、利用補助回数の増加をしてほしい。

A 保健経理財政を確保するため、補助金額及び利用回数については見直しを行った経過があり、保健経理財政への影響が危惧されることから、補助金額の増額等については、難しいと考えております。

何卒、ご理解の程お願いいたします。

その他関係

Q 共済組合事業について、あらましとは別に、よく使われる制度を紹介したわかりやすいパンフレットを作ってほしい。

A 共済事業については、家族構成や年齢等により、関心のある事業も多様であるため、よく使われる事業を絞ることが難しく、また、あらましと別にパンフレットを作成した場合、作成費用等も発生することとなりますので、現状の対応をお願いいたします。

なお、HPで必要な事業等が容易に検索できますので、是非ご活用いただきたいと思います。

Q 共済だよりを廃止(HPの活用)、発行回数を減少。

A 共済だよりにつきまして、組合員等にとって必要な事業や制度改正等を伝えるために配付しているため、現行の対応でご理解をお願いいたします。

なお、現在の発行回数は毎月発行ではなく、最低限必要な年7回発行としており、配付部数についても、毎年、新年に入る前に、全所属所に対し配付希望部数のアンケートを行った上で、配付させていただいており、平成24年度1ヶ月当たりの発行部数は28,486部、組合員数の約52.5%となっております。



田村議員(さいたま会場)

Q 現在、共済組合申請様式をHPからダウンロードできるが、もう少し充実・整理してほしい。

A 現在、更なる充実に向け、対応していない用紙等の精査を行っておりますので、ご理解をお願い致します。